

平成28年10月鳥取県中部地震の体制及び災害状況等

## 1. 地震の状況

鳥取県倉吉市、湯梨浜町、北栄町において、10月21日14時07分に震度6弱の地震が発生。津波の発生無し。

## 2. 本部、各事務所体制及びダム管理所の防災体制

非常体制：本部、倉吉支部、中国技術支部

## 3. 施設被害情報・対応状況等

【国管理河川】天神川水系小鴨川堤防天端クラック確認。応急対策完了。

【利水（農水）ダム】 下蚊屋ダム：貯水池の法面小崩落。  
西原ダム：ダム天端に微少クラック

【国管理道路】通行止めなし。片側交互通行1箇所。

【県管理道路】通行止め鳥取県4箇所

【港湾施設】重要港湾・地方港湾：被害情報なし

【営繕施設】整備局庁舎：軽微な被害のみ  
官庁施設：断水等4施設で被害報告

【都市施設】公園：被害情報なし。  
下水道：鳥取県マンホール付近陥没37箇所  
内、通行止め2箇所（迂回路有）  
公営住宅：鳥取県【4市4町】90戸、30棟、12団地  
（軽微な損傷）  
岡山県【1町】25戸

## 4. リエゾン（情報連絡員）派遣状況

24日は職員8名が活動実施。（発災日から延べ42人・日）

鳥取県庁 2名活動中

北栄町役場 2名活動中

湯梨浜町役場 2名活動中

三朝町役場 2名活動中

倉吉市役所 23日帰還

## 5. TEC-FORCE（緊急災害対策派遣官）派遣

24日は職員21名が活動実施。（発災日から延べ77人・日）

【先遣班司令】2名（出雲河川）

23日 倉吉河川国道事務所にて、各班へ指示・連絡調整。

24日 倉吉河川国道事務所にて、各班へ指示・連絡調整。

【被災状況調査班①】4名（河川部2名、太田川1名、総務部1名）

【被災状況調査班②】4名（太田川4名）

【被災状況調査班③】4名（道路部3名、総務部1名）

【被災状況調査班④】2名（営繕部2名）

○湯梨浜町

23日 道路及び町施設（建物）被災調査、橋梁調査箇所の資料作成

24日 河川及び町施設（建物）被災調査、橋梁調査実施（予定）

○三朝町

23日 三朝町長に10/22砂防調査結果報告。活動終了

24日 活動予定なし

○北栄町

23日 道路被災状況調査実施。

24日 道路被災状況調査実施（予定）

【応急危険度判定班】5名（営繕部5名）

23日 三朝町で建物被災状況調査を実施。三朝町へ報告。

24日 琴浦町にて建築物判定の打合せを実施（予定）。

## 6. 上空調査（防災ヘリ）

発災日（21日）から2日間防災ヘリ1機（愛らんど号）を派遣し調査を実施。

21日 14:50 高松空港離陸、鳥取県内調査、17:20 出雲空港着 被害情報なし。

22日 8:30 出雲空港離陸、砂防、河川、道路関係の被災状況調査を実施。

14:30 出雲空港離陸, 16:00 出雲空港帰還。

23日～【愛らんど号】出雲空港待機

【きんき号】待機

【はるかぜ号】待機

## 7. 災害対策機械の派遣

発災日（21日）から災害対策機械を2台が活動。

【照明車】倉吉市役所（1台）で損傷箇所監視を実施。22日帰還。

【待機支援車】倉吉河川国道事務所（1台）へ派遣しTEC-FORCE活動支援。

22日から待機中。

## 8. 物資要請対応

【土のう袋・ロープ】

■自治体要請への対応（リエゾン情報）として土のう袋 12,000 袋、ロープ 7,300m を提供。

鳥取県からの要請で倉吉市・湯梨浜町・北栄町に提供。

・土のう袋 9,000 袋（鳥取河川国道）

・ロープ 800m（倉吉河川国道）

平成28年10月24日9:00現在

湯梨浜町・三朝町からの要請で提供

- ・湯梨浜町土のう袋 2000 袋、ロープ 5,000m (松江国道)
- ・三朝町土のう袋 1,000 袋、ロープ 1,500m (三朝町)

**【ブルーシート】**

■倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町からの要請（リエゾン情報）でブルーシート 3,363 枚を提供。

- ・倉吉市 926 枚（倉吉、境港湾）
- ・湯梨浜町 530 枚（松江国道）
- ・北栄町 1,037 枚（日野川、出雲、倉吉、岡山国道、境港湾）
- ・三朝町 870 枚（鳥取、岡山河川）

**9. 被災建築物応急危険度判定の支援**

- ・鳥取県からの要請にもとづき、近隣各県から 28 名の職員が応急危険度判定の支援を実施予定（24 日～26 日）⇒中国地整からも職員 5 名を派遣